

## 詩篇 第23編4節

この歌を最初から歌うと、歌を捧げるお方への呼びかけが変わってゆくことに気付かされる。呼び掛ける御名が変化する。歌い手に何が起きているのだろうか。歌い手はどうして呼び方を変えて歌ったのだろうか。

創造主が私のすべてであり、それゆえ私には乏しいことがないと歌う。このお方以外に先んじて、優先して求めるものは無いと歌う。それから、どのような羊飼いであるかと歌う。私を導く主は、倒れる私をよみがえらせ、主の道へと招くお方。私は救い主と共にこの道を歌う。このお方以外に、私の行く道はありませんと歌う。私は創造主を知っている、救い主を知っている。

その主を、あなたと歌い始める。それまで、創造主であり救い主への歌であった歌が、いまは、あなたと呼ぶ。あなたをこころから呼べるほど親しく、こころ通わせ歌う。あなたと交わり、あなたが招く食卓に着き、アットホームで身近な気持ちで歌います。私のいのちは、こころは、生涯は、あなたへの思いで溢れ歌となっています。

歌う場は、あなたと呼ぶ私を喜んでくださる、あなたの家、主の家です。私の魂の永遠のアットホームです。